

令和8年度 兵庫県災害対策本部図上訓練計画作成等業務委託
公募型プロポーザル募集に係るQ&A

質問受付期間において、複数事業者から類似の質問を受けた事項について、以下のとおりQ&Aを掲載します。

区分	質問事項	回答
マニュアルについて	災害対応マニュアルは、県庁15部局が部局毎に保有しているという認識でよいか？	災害対応の職員行動マニュアルは県庁の各部局（危機管理部を除く）毎に保有しています。
	「マニュアル修正案の提案」とは、災害対策本部事務局だけでなく、兵庫県の14部すべてが対象なのか？	マニュアルの改善提案は、災害対策本部事務局各班マニュアル及び応援受援マニュアルを想定し、各部局のマニュアルは想定していません。
	マニュアルの改善提案は、各訓練後（合計2回）に全ての部局を対象に実施するという認識でよいか？	第1回と第2回で訓練フェーズが異なるので、各訓練後毎の改善提案が望ましい。
	各部局マニュアルに基づく状況付与作成・修正提案のため、閲覧可能なマニュアル類の範囲、提供時期、提供方法は？	マニュアル等の提供については、以下を想定 ○状況付与作成 災害対策本部の設置要綱や、災害対策本部事務局各班マニュアル、各部局の職員行動マニュアル等 ○改善提案 災害対策本部事務局各班マニュアル及び応援受援マニュアル 兵庫県の災害対応の詳細が記載されておりますので、委託契約により秘密保持を実施した後に、データによる提供を想定しています。
SIP事業の活用について	「SIP事業を活用した訓練」として想定している具体的なシステム・ツール・連携対象（既存環境、訓練用環境の別）をご教示ください。	兵庫県では令和7年度の訓練から、国公立大学法人東北大学及び(株)RTi-castの「リアルタイム津波浸水・被害予測システム」、学校法人芝浦工業大学市川研究室の「DSG-SIM」のSIP事業を活用して、兵庫県の防災システムとD24Hに被害情報等を登録して訓練を実施しています。 令和8年度も上記システムを活用する予定としていますが、その他に防災に関し有効なSIP事業を提案し、訓練に取り入れていただくことが望ましい。
	D24H、EMIS等の活用について、実環境の使用を想定しているか、訓練用画面・模擬データでの実施も可能かをご教示ください。	兵庫県では令和7年度の訓練から、兵庫県の防災システムに模擬データの避難所情報（避難者数、世帯数、ライフライン被害）及び被害情報（人的被害、建物被害）を取り込んで訓練を実施しています。また、兵庫県の防災システムに取り込んだ避難所情報をD24Hにも登録し訓練を実施するとともに、EMISにも訓練用の医療施設被害を登録し訓練を実施しています。 活用については、実環境の使用を想定してください。
	D24H、EMIS等の情報の活用は具体的に何か？	兵庫県では令和7年度の訓練から、兵庫県の防災システムに模擬データの避難所情報（避難者数、世帯数、ライフライン被害）及び被害情報（人的被害、建物被害）を取り込んで訓練を実施しています。また、兵庫県の防災システムに取り込んだ避難所情報をD24Hにも登録し訓練を実施するとともに、EMISにも訓練用の医療施設被害を登録し訓練を実施しています。 情報の集約や、状況付与への対応の判断材料として活用する訓練としてください。